



週刊

マーケットデータウォッチ  
**Market Data Watch**  
投資戦略広場

目次

2007/4/2号



**ウィークリー投資戦略** Page 2  
名実ともに新年度相場入り、イベントでは日銀短観に注目

**投資主体別売買動向** Page 3-4  
海外勢の買いも期待薄い、外部要因に振り回される展開か

**特集** Page 5  
危うきは避け、疑わしきは待つべし

**今週のロング・ショート戦略(連載企画)** Page 6  
今週の特選ロング・ショート候補 ~ 新年度入りに期待

**機関投資家動向ウォッチ(連載コラム)** Page 7  
『アンバンドリングとアルゴリズム』

**今週の予定** Page 8-9  
日銀短観が発表される

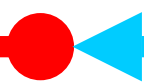
**株式分割候補銘柄** Page 10  
マルマエ(6264)などに注目

**今週のIPOマーケット** Page 11  
データリンクスの上場に注目

**参考資料** Page 12  
先週的主要レーティング一覧

**参考資料** Page 13  
株式分割リスト

**参考資料** Page 14  
投信設定スケジュール



## ウィークリー投資戦略

# 名実ともに新年度相場入り、 イベントでは日銀短観に注目

## 回顧

日経平均は利食い売りが優勢となり、先週末比192.96円安となる17287.65円で取引を終えた。年度内取引最終週で参加者が限られる中、米国株式や為替などの外的要因、先物市場での値動きなどに影響された。米国では新築住宅販売の大幅減少、インフレ懸念の高まりから株価は下落し、日本株も連れ安した。また先物市場では板の薄さを利用した仕掛け的な注文が出され、後場から大きく動意付く傾向が続いていた。

個別銘柄では、原油価格の急騰を受けて国際帝石(1605)、石油資源開発(1662)などが上昇、みずほFGと伊藤忠による資金支援が発表されたオリコ(8585)が急反発し、UFJニコス(8583)など他のノンバンク株も買われた。その他、三菱重工(7011)、日立(6501)など原発関連銘柄も一段高となった。また先週末の能登半島地震を受けて、北陸を地盤とする真柄建設(1839)に物色が向かった。

一方、3月本決算企業の権利付き最終売買日を通して、電力株など高配当利回り銘柄が一旦利食いに押された。その他、インド進出が報じられた新日鉄も軟調、外資系証券による投資判断や目標株価の引き下げが観測されたアドバンテスト(6857)、東京エレクトロ(8035)など半導体関連銘柄も売られ、指数の重石となった。

## 今週の戦略

今週は名実ともに新年度相場入りとなり、日米ともに重要な経済指標の発表を控えている。まず国内で注目されるのは、2日発表予定の日銀短観。事前予想通りならば手掛かり材料とはならず調整色が強まる公算が大きい。一方、短観の設備投資計画次第によっては機械セクターに関心が集まる可能性もあろう。電力各社の設備投資計画拡大に注目する動きも増えてきており、電力設備投資関連株物色の裾野の広がりにも期待したい。その他、米国では6日に雇用統計の発表が予定されている。景気減速懸念が高まる中、発表後の米国株の動向が注目される。

また先週末は、一部低位材料株の下方修正が相次いだ。監査の厳格化に伴い、決算発表の本格化が接近するに連れ会計問題表面化への懸念が強まる可能性は高いだろう。例年通り、4月相場は調整とのイメージが意識されてきそうだ。

週末の報道では、エディオンとビックカメラの統合計画、サトとフレンドリーの合併合意が白紙化などと伝わっている。M&A活発化に対する期待感の後退につながる恐れもあろう。また、ここまで相場の牽引役となっていた素材関連株だが、先週の三菱マテリアルの中期計画、外資系証券による住友チタニウムの売り推奨などから、現在の事業環境はピーク水準との見方も強まり始めている。

TOPIXチャート 日足)



JQ指数チャート 日足)

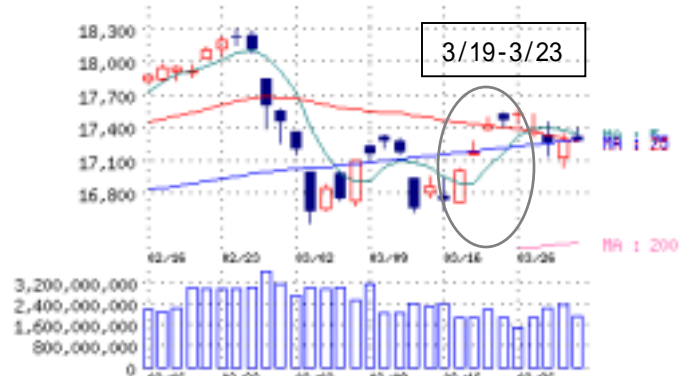


投資主体別売買動向

# 海外勢の買いも期待薄い、外部要因に振り回される展開か

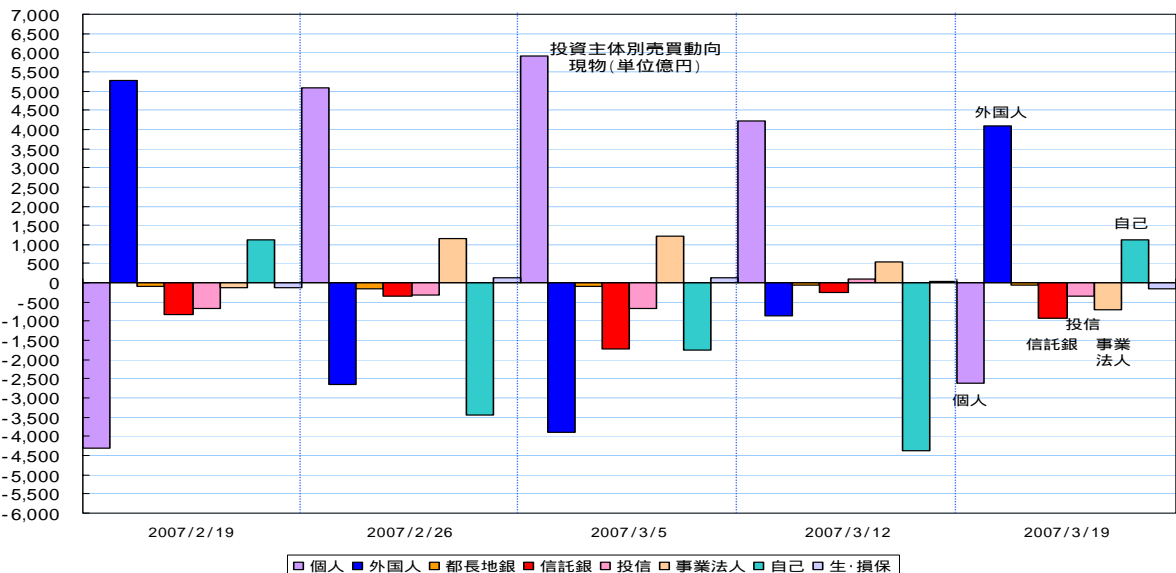
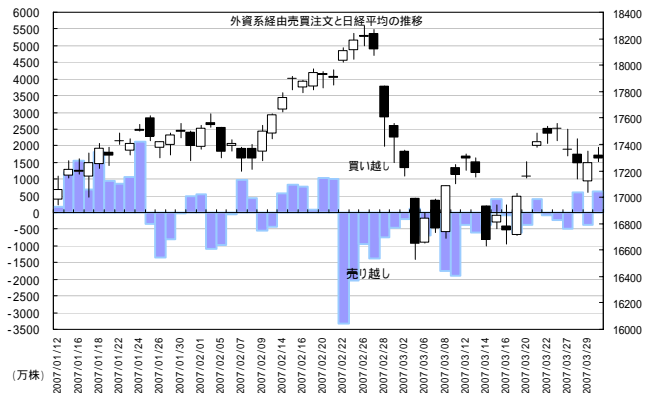
3月19日から23日の週は、立会い日数が4日間ながら続伸の末に1万7500円に接近して終わった。翌週初に権利落ち最終日を抑え、配当権利取りの動きや期末を前にショートポジションを閉じるための買いもあったようだ。ファンドからの増配要請だけでなく買収対策としても企業側への増配期待も強くなっているようだ。週前半は公示地価の発表を前に不動産株が物色され、その後は銀行のほか、業界再編期待から薬品株も堅調となった。ただ週末には不動産も出尽くし感から一服、高いそのものは、期末接近から盛り上がりに欠ける展開となっていた。

日経平均株価(日足)



(C) FISCO Ltd.

外資系経由売買注文動向(概算)			
	売り	買い	差し引き(万株)
2007/3/26	3790	3560	-230
2007/3/27	3560	3070	-490
2007/3/28	2560	3150	590
2007/3/29	3240	2860	-380
2007/3/30	3460	4080	620



外国人投資家は、4週ぶりに買い越しとなった。アジア株の出直りやNY市場の急速な戻しを背景に資金流入を強めたようだ。年金資金などの海外市場とのウエイト調整の買いやファンドの買戻しなども入ったようだ。また先物も4週ぶりに2011億円(TOPIX先物と日経平均先物の合算)の買い越しとなった。海外投資家はそれまでの3週間で1兆5千億(TOPIX先物と日経平均先物の合算)以上売り越しており、ヘッジファンドなどのショートカバーも出ていたと思われる。

逆に個人投資家は、4週ぶりに売り越しとなった。これまで押し目を拾っていた個人がセオリー通り、戻り局面で利益確定に動いたようだ。現金では、前週(2361億円)の買い越しから、1625億円の売り越しとなった。また、信用でも前週の1861億円の買い越しから、982億円の売り越しとなった。ただ、前3週で1兆5213億円買い越しており、まだ本格的に売り上がっているわけではないようだ。

国内機関投資家はヤレヤレの戻り売りとなった。信託銀行は11週連続の売り越しとなったが、先物の売りは前週の963億円から71億円に大幅に減少した。投信も2週ぶりに売り越しとなり、個人の戻り売り同様に解約売りが出たようだ。

事業法人は、4週ぶりに売り越しとなった。期末を控え売買は活発化しているが、相場の戻りから持ち合い解消やポジションの確定売りが目立ったようだ。

期末の商いが盛り上がらないなか、先物の需給に振られる展開が続いていた。今週は、新年度入りし、国内の投資家の資金流入を期待する向きも多いが、日銀短観発表の見極めなどで動きにくいと思われる。海外投資家の買いに期待したいが、前週の買い越し水準を見る限り、勢いは感じられない。特に内需セクターは一部を除くと需給関係はややネガティブに動きそうだ。為替の動きや先物の需給にも警戒が必要で、今週は海外市場との感応度が高まりそうだ。

## 投資主体売買動向 株式週間(金額ベース数値表)

単位 億円・万株

日付	個人	外国人	生・損保	都地銀	信託銀	投信	事業法人	自己	外資系
06/11/20	768	576	51	96	1,029	465	286	-3,755	-1,700
06/11/27	-4,389	3,245	0	36	1,112	550	117	-546	1,550
06/12/04	-2,195	5,918	-5	-42	-1,090	-38	231	-2,808	2,820
06/12/11	-5,057	5,241	-8	-96	-1,173	-209	128	1,127	1,660
06/12/18	-3,492	2,899	-161	81	-1,974	-658	473	3,070	3,340
06/12/25	-1,642	607	-66	-71	401	-518	109	1,264	-360
07/01/04	141	-1,150	-16	11	77	-90	59	815	-410
07/01/09	104	1,294	-46	-31	-567	-332	154	-841	160
07/01/15	-3,439	5,431	-282	-61	-1,613	-442	-105	1,099	3,940
07/01/22	-2,259	4,252	-95	-117	-2,270	-363	-178	1,611	5,850
07/01/29	-3,262	5,300	-40	-78	-1,119	34	-94	-171	700
07/02/05	133	3,693	-104	-70	-613	-506	369	-2,627	-1,080
07/02/13	-3,960	5,190	-16	-334	-1,958	-653	336	2,123	800
07/02/19	-4,318	5,287	-134	-84	-823	-659	-136	1,110	1,840
07/02/26	5,087	-2,650	119	-167	-359	-315	1,155	-3,445	-4,270
07/03/05	5,903	-3,900	135	-82	-1,719	-655	1,225	-1,768	-2,650
07/03/12	4,223	-869	31	-65	238	112	559	-4,386	-4,870
07/03/19	-2,608	4,086	-165	-66	-937	-354	-706	1,110	-660
07/03/26	0	0	0	0	0	0	0	0	110

特集

# 危うきは避け、疑わしきは待つべし

今週は相場の上値が重くなり、底打ち感の確度が怪しくなっていることから、権利落ちとなり軟調に推移する高配当利回り銘柄の押し目買い狙いで、銘柄の抽出を進めたい。

## <スクリーニング条件>

東証1部売買代金(25日平均)5億円以上

配当利回り1.50%以上

売上高伸び率がプラス

経常利益伸び率がプラス

純利益伸び率がプラス

コード	銘柄名	3月30日 終値	配当利回り	配当性向	売上高 伸び率	経常利益 伸び率	純利益 伸び率
1802	大林組	760	1.57	27.9	5.9	0.3	9.2
1878	大東建	5,550	1.69	31.8	7.2	5.5	5.1
2002	日清粉G	1,199	1.50	35.5	5.1	10.3	17.5
3738	テバーク	171,000	2.33	31.4	16.4	18.9	18.4
3865	北越紙	606	1.98	61.2	2.9	40.8	38.4
5101	浜ゴム	724	1.65	41.1	13.5	0.8	7.4
5411	JFEHD	6,970	1.72	24.6	160.6	170.3	171.5
5463	丸一管	3,660	1.53	42.5	3.5	4.3	4.8
5541	大平金	1,645	1.64	21.2	43.8	88.4	64.0
5855	アサヒリテカ	2,960	1.52	35.5	51.2	65.6	61.8
5929	三和シヤ	734	1.77	48.8	5.1	19.8	0.5
6436	アマノ	1,439	1.80	39.9	5.3	5.2	1.0
6472	NTN	1,020	1.56	37.2	4.9	21.3	37.4
6586	マキタ	4,370	1.51	42.8	11.5	45.9	29.3
6845	山武	2,730	1.83	43.8	5.5	16.9	1.7
7201	日産自	1,263	2.69	62.7	0.1	0.8	1.8
7741	HOYA	3,910	2.04	133.8	10.8	18.3	17.8
7860	エイベックス	1,915	2.08	35.5	39.5	372.2	812.3
7988	ニフコ	3,050	1.83	54.7	5.2	6.2	13.8
8031	三井物	2,200	1.54	42.0	5.5	8.4	88.0
8078	阪和興	588	2.04	22.3	17.1	8.2	13.9
8473	SBI	44,700	2.68	59.4	37.3	70.8	124.9
8586	日立キヤビ	2,355	1.52	37.4	14.0	6.0	11.3
8601	大和証G	1,423	1.68	43.9	192.5	187.7	49.4
8609	岡三	920	1.63	52.0	31.3	37.3	126.8
8698	マネックスBHD	109,000	2.66	78.2	659.7	155.3	155.2
8763	富士火	485	1.54	46.1	0.9	29.3	6.5
9110	新和海	596	1.84	22.3	7.9	29.7	38.1
9132	第一船	350	1.71	25.5	27.3	13.4	13.7
9437	NTTドコモ	218,000	1.83	35.1	1.3	27.1	29.2
9448	インボイス	5,950	1.69	100.8	3.9	88.9	156.6
9509	北海電	3,130	1.91	39.1	4.4	14.7	9.4

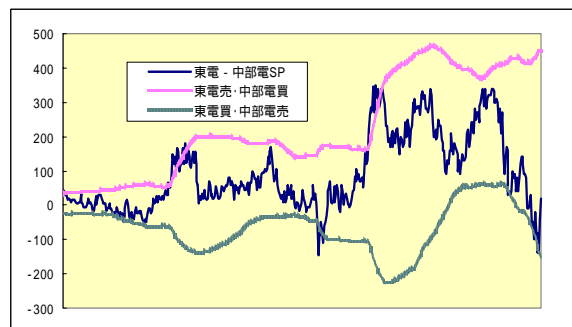
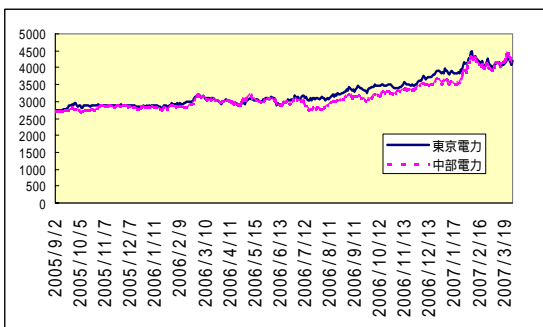
今週のロング・ショート戦略

# 今週の特選ロング・ショート候補 ~ 新年度入りに期待 ~

「今年度もお疲れ様でした」と各運用担当者に挨拶をしていると、共通して返ってくる言葉が「また鉄は来ますか？」だった。「再編・M&A」をキーワードに低PER株がいっせいに動き続けたマーケットが、久方ぶりに各投資家を「陶醉」させ、未来を担うべき新興市場株を「忘却」させてしまった。指数だけを振り返ればほとんどレンジ相場であったものの、それ以上に個別株の温度差に銘柄選択の大事さを痛感した年度でもあった。新年度入りし今度こそ個別企業の決算を見て「勝ち馬」に乗りたいたいものである。

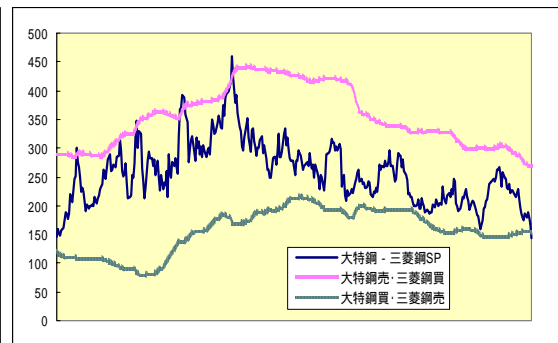
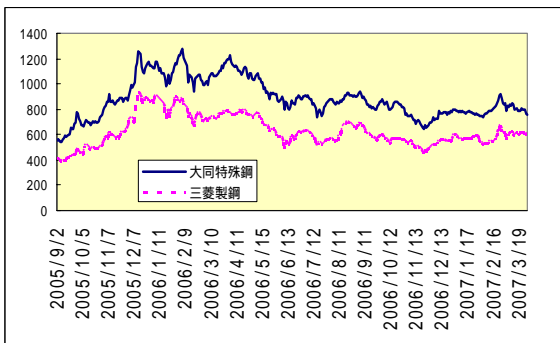
## 【ペアトレード候補】

9501 東京電力・9502 中部電力



電力株の配当利回りは一時期に比べて低下している。株価が上昇したためで、それだけ投資家が配当に対して関心が高かったことを意味するものであるが、直近中部電力は今期配当見通しを据え置き、東電は増配見通しであることを発表した。権利落ち以降、両社とも株価の軟調地合いは継続しているが、ペアトレードにおいては東電買い・中部電力売りのスタンスを取りたいポイントである。

5471 大同特殊鋼・5632 三菱製鋼



昨年4月以降両社のスプレッドは縮小トレンドにあった。同じ鉄鋼セクターではあるが両社とも平均PERから比較すると必ずしも割安ともいえない分、相関も高いことが分かる。今年度の業績見通しが予想以上に慎重との見方が両社にあり、上値が重い状況から鉄鋼株の物色は一巡したかとも思えるが、三菱製鋼との比較において相対的な大同特殊鋼の割安感が出現しはじめる位置関係から、3月期決算発表前に大同特殊鋼買・三菱製鋼売のポジションを組み始めておきたい。

## 機関投資家動向ウォッチ(連載コラム)

## 『アンバンドリングとアルゴリズム』

昨日は、いわゆる期末(年度末)でした。

今週初め、某信託銀行の株式運用部長にお話を伺った際、「TOPIXがこのまま終われば、わずかでも年度ではプラスになる。なんとかキープしてもらいたい。」とのコメントを頂きました。しかし、残念ながら結果は今週の下落がたたって、マイナスになってしまいました。

ところで、TOPIXに対する相対パフォーマンスで評価されているはずの年金なのに、・・・何故、TOPIXがプラスになる事を望んでいるのでしょうか?・・・この疑問を更にぶつけてみました。

「GPIF(年金積立金監理運用独立行政法人)や連合会(企業年金連合会)が債券へのウエイトを高める方針で進んでいることもあり、保守的な委託者(=基金等)の間では株のウエイトを引き下げようというムードが漂っている。些細なことだが、今年度のベンチマーク(TOPIX)までがマイナスになると、彼らの『株式への投資』を抑えたいという気持ちがさらに強くなってしまう。」

成功報酬体系を取り入れていない信託銀行にとっては、『残高減=収入減』です。

好調な信託銀行の企業業績の中で、運用部門の低迷は彼らの立場自体をも危うくさせる大問題になりかねません。

この辺の事情に関しては、また改めてご紹介したいと思います。

実は、前述の株式運用部長には『アンバンドリング』と『アルゴリズム取引』についての状況をお話ししようと思いきやコンタクトしていませんでした。ここでいう『アンバンドリング』とは、運用会社が証券会社に支払う手数料を、リサーチ情報の対価と、執行に関わるコストに2分解し、手数料の中身を透明にしようとするもので、英国での状況が最も進んでいます。日本では、まだ利用はされていません。

『アルゴリズム取引』は、取引システムの一部とご理解頂ければよいかもしれません。

人の手を極力介さないようにすることで、発注コスト(手数料)をさらに引き下げようとするものです。国内機関投資家では利用されていませんが、外資系運用会社はかなり積極的に利用しています。某外資系投資顧問会社では、全発注の8割はアルゴリズム取引になっているといえます。

前述の信託銀行では、いずれもまだ話題にも上っていないようです。

特にアルゴリズム取引の方は、仕上がり手数料率を引き下げることが大好きな信託銀行にとってはおあつらえ向きのはずですが・・・。

あまり詳細はご紹介できませんが、実はこの前述の2点に関しては、彼らの現在の手数料率が利用を促進しない理由となっていました。機関投資家の手数料率は一般的には12 - 15bpです。しかし、これにはキャップといわれる上限があります。国内機関投資家は一般に20万円強。一方、外資系投信会社などのキャップは50 - 100万円前後と、国内機関投資家に比べてかなり高く設定されています。

一銘柄あたりの売買代金が大きくなりがちな信託銀行では、キャップにかかってしまうことが多く、実質の仕上がり手数料率は2 - 3bpとされています。いかにアルゴリズム取引を利用して手数料率を引き下げても、これ未滿にすることは難しいでしょう。つまり信託銀行では、既にかかなり低い手数料率になっていたということです。

『アンバンドリング』に関しては、某委託者(基金)の次の言葉が象徴的です。

「信託など受託者から、アンバンドリングの提案は一度もない。それを利用するには、今の(2 - 3bpの)手数料率ではパイ(支払い手数料の総額)自体が少なすぎ、証券会社に対して運用会社が身銭を切って手数料を払わないといけなくなってしまいます。我々からの信託報酬額を増額できる見込みがない限り、今のところ、彼らがアンバンドリングを利用する提案をしてくることはないだろう。」

とはいえ、上記2テーマはグローバルでは避けて通れない問題になっていますし、証券会社にとっては頭の痛い問題です。個人の方にはまったく関心のない話題かもしれませんが、いずれ日経等でも取り上げられるでしょうから、言葉を覚えておいて損はないと思います。

(20070331 記)

今週の予定

## 日銀短観が発表される

日付	曜日	時間	内容	市場コンセンサス	前回数値		
4月2日	月	08:50	企業短期経済観測調査(日銀短観3月概要、日本銀行)	大企業製造業,24	大企業製造業,25		
		10:00	デジタルカメラ出荷実績(2月、カメラ映像機器工業会)				
		14:00	軽自動車販売台数(3月、全国軽自動車協会連合会)				
		14:00	新車販売台数(3月、日本自動車販売協会連合会)				
		17:00	日本銀行、外国為替相場状況(3月末)				
		23:00	米・ISM製造業景気指数(3月)			51.1	52.3
			あいホールディングス(8473)が東証1部に上場				
			スカパーJSAT(9412)が東証1部に上場				
			スカパーJSATが日経平均に採用される				
			ふくおかフィナンシャルグループ(8354)が東証1部と大証1部に上場				
4月3日	火	08:50	マネタリーベース(3月、日本銀行)	-19.7%	-21.1%		
		08:50	企業短期経済観測調査(日銀短観3月全容、日本銀行)				
		14:00	「生活意識に関するアンケート調査」結果(日本銀行)				
		23:00	米・中古住宅販売保留指数(2月)	0.2%	-4.1%		
			米・自動車販売台数(3月)	16.6M	16.6M		
4月4日	水	12:40	武藤敏郎・日本銀行副総裁、講演(東洋経済ビル経済倶楽部)				
		13:30	2006年度乗用車、普通トラック、小型・軽トラック市場動向調査(JAMA)				
		13:30	鉱工業出荷内訳表(2月、経済産業省)				
		23:00	米・製造業受注指数(2月)	2.3%	-5.6%		
			タイ・ASEAN財務相会合(5日まで) 米・決算:ベストバイ、モンサント				
4月5日	木	08:50	対外対内証券売買(先週分、財務省)				
		11:00	車名別販売台数(3月、日本自動車販売協会連合会)				
		11:00	輸入車販売台数(3月、日本自動車輸入組合)				
		20:00	英・イングランド銀、政策金利	5.25%	5.25%		
		21:30	米・失業保険新規申請件数(先週分)		308K		
			香港・台湾、祝日で休場(清明節)				
4月6日	金	08:50	外貨準備高(3月末、財務省)		\$905.0B		
		14:00	景気動向指数(2月、内閣府)	一致,5.6%	一致,45.0%		
		21:00	米・雇用統計(3月)	非農業部門,120K	非農業部門,97K		
		23:00	米・卸売在庫(2月)	0.4%	0.7%		
		28:00	米・消費者信用残高(2月)	\$5.0B	\$6.4B		
			KDDI、ソフトバンク、ドコモ、3月の携帯電話純増数と累計契約数を公表				
			データリンクス(2145)がジャスダックに上場				
			欧米・祝日で休み(米、カナダ、イギリス、フランス、ドイツなど)				

(注) :K=1000、M=100万、B=10億

2日には3月調査の日銀短観が発表される。大企業製造業の実況判断DIについて市場ではプラス24と12月のプラス25からやや悪化するとみている。実際発表の数字が予想通り悪化すれば、2006年3月以来のこととなる。ただ、大企業製造業の実況判断DIの悪化はほぼ織り込まれていると思われ、予想以上の悪化がなければ大きな材料になりにくいと考えられる。なお、今回の調査で07年度の設備投資計画も公表される予定で、企業部門の投資動向を判断する材料として注目が集まりそうだ。一方、4日のイオンの決算発表を皮切りに小売各社の決算が始まる。暖冬による影響も予想されるなか、着地の状況および今後の予想について関心が集まりそうだ。4日には武藤日銀副総裁の講演も予定されている。日銀短観の公表を受け、経済見通しや金利政策についての見解は市場に影響を与える可能性もある。今週の新規上場はデータリンクとエイチアイの2社のみだが、新年度入りで需給の改善も見込まれるなか、その動向は注目される。

海外ではISM製造業景気指数(3月、2日)、ISM非製造業景気指数(3月、4日)、雇用統計(3月、6日)などが発表される予定で、米景気に対する警戒は依然として強いなか、経済指標の結果次第で市場では神経質な動きになる可能性も考えられる。



今週の予定

## 決算発表予定

決算発表予定企業									
日付	コード	銘柄	時刻	上場部名	日付	コード	銘柄	時刻	上場部名
4月2日	2753	あみやき亭	15:30	東証1部					
	3333	あさひ		東証2部					
	7545	西松屋チェーン		東証1部					
	7965	象印マホービン		大証2部					
	8217	オークワ		大証1部					
	9843	ニトリ		東証1部					
	9977	アオキスーパー		ジャスダック					
4月3日	2660	キリン堂	15:00	東証1部					
	7447	ナガイレーベン		東証1部					
	7453	良品計画		東証1部					
	7548	サンクスジャパン		ジャスダック					
	8276	平和堂		14:30	東証1部				
	9859	ユーストア		15:00	東証2部				
4月4日	2417	ツヴァイ	15:30	ジャスダック					
	2655	MV東北		東証2部					
	2734	サーラコーポ		東証1部					
	3230	スター・マイカ		ヘラクレス					
	3354	チェルト		ジャスダック					
	4343	イオンファンタジー		東証1部					
	7450	サンデー		ジャスダック					
	7478	ブルーグラス		ジャスダック					
	7514	ヒマラヤ		東証2部					
	8198	MV東海		東証2部					
	8227	しまむら		東証1部					
	8266	イズミヤ		東証1部					
	8267	イオン		東証1部					
	8287	MV西日本		大証2部					
	8570	イオンクレジ		東証1部					
	8853	ダイアシティ		東証1部					
	8888	クリード		東証1部					
	8905	イオンモール		東証1部					
	9787	イオンディライト		東証1部					
	9946	ミニストップ		東証1部					
4月5日	2130	メンバーズ	15:00	セントレックス					
	2685	ポイント		東証1部					
	2809	キュービー		東証1部					
	4530	久光製薬		東証1部					
	7544	スリーエフ		東証2部					
	8193	鈴丹		東証1部					
	8200	リンガーハット		東証1部					
	8201	さが美		東証1部					
	8258	OMCカード		東証1部					
	9369	キューソー流通		東証1部					
4月6日	2471	エスプール		ヘラクレス					
	2659	サンエー		東証1部					
	2872	セイヒョー		東証2部					
	3321	ミタチ産業		東証1部					
	3349	コスモス薬		東証1部					
	3607	クラウドディア		東証2部					
	4325	バンダイビジュアル		東証1部					
	5310	東洋炭素		東証1部					
	7730	マニー		ジャスダック					
	8229	CFS		東証1部					
	8251	バルコ		東証1部					
	9842	アークランド		東証1部					
	9878	セキド		東証2部					
	9883	富士エレク		東証1部					

## 株式分割候補銘柄

## マルマエ(6264)などに注目

コード	銘柄	市場	終値	決算期	決算発表予定日
1605	国際帝石	東証1部	1020000	3月	
2121	ミクシィ	マザーズ	1940000	3月	
2126	G C A	マザーズ	827000	2月	4/17
2127	M & A	マザーズ	748000	3月	
2134	サンキャピタル	ヘラクレス	680000	3月	
2580	コカ・コーラCJ	東証1部	917000	12月	
2652	マンダラケ	マザーズ	493000	9月	
2727	テンコーポ	JQ	480000	3月	
2769	ウイレッジV	JQ	674000	5月	
2914	J T	東証1部	579000	3月	
3073	ダイヤD	ヘラクレス	733000	2月	
3242	アーバネット	JQ	526000	6月	
3724	ペリサーブ	マザーズ	549000	3月	
3745	サミーネット	マザーズ	607000	3月	
3765	ガンホー	ヘラクレス	511000	12月	
3774	IIJ	東証1部	469000	3月	
3787	テクノマセマティ	マザーズ	1070000	3月	
3793	ドリコム	マザーズ	787000	3月	
3823	アクロディア	マザーズ	489000	3月	
3825	R E M I X	マザーズ	602000	3月	
3840	イー・キャッシュ	マザーズ	645000	3月	
3843	フリービット	マザーズ	471000	4月	
3845	アイフリーク	ヘラクレス	652000	3月	
4563	アンジェスMG	マザーズ	603000	12月	
4813	A C C E S S	マザーズ	528000	1月	
4849	エンJPN	ヘラクレス	598000	12月	
6156	エーワン精密	JQ	511000	6月	
6263	プロデュース	JQ	540000	6月	
6264	マルマエ	マザーズ	473000	8月	4/11
6324	ハーモニック	JQ	660000	3月	
6638	Mimaki	JQ	490000	3月	
6668	プラズマ	マザーズ	515000	8月	4/13
6669	シーシーエス	JQ	500000	7月	
6726	オーエイチティー	マザーズ	1300000	4月	
7604	梅の花	東証2部	559000	9月	
7717	Vテクノロジー	マザーズ	470000	3月	
7846	パイロット	東証1部	946000	12月	
8316	三井住友	東証1部	1070000	3月	
8328	札幌北洋	東証1部	1180000	3月	
8411	みずほ	東証1部	759000	3月	
8697	大証	ヘラクレス	679000	3月	
8772	アサックス	東証2部	813000	3月	
8898	センチュリー21	JQ	670000	3月	
8929	船井財産	マザーズ	656000	12月	
9020	JR東日本	東証1部	918000	3月	
9021	JR西日本	東証1部	544000	3月	
9022	JR東海	東証1部	1340000	3月	
9432	NTT	東証1部	623000	3月	
9433	KDDI	東証1部	941000	3月	
9613	NTTデータ	東証1部	599000	3月	

上表は直近株価の高い順に並んでいます。会社側から分割発表が行われた銘柄、推奨銘柄などではありません。

今週のIPOマーケット

# データリンクスの上場に注目

## 直近上場20社データ

上場日	コード	銘柄名	公募価格	初値	週末終値	初値/公募値	現値/初値
H19.3.7	3075.Q	銚子丸	38,000	52,000	50100	36.8%	-3.7%
H19.3.8	3839.OJ	ODKソリューションズ	60,000	73,100	57000	21.8%	-22.0%
H19.3.8	8771.Q	イー・ギャランティー	255,000	528,000	413000	107.1%	-21.8%
H19.3.9	3040.Q	ソリトンシステムズ	1,850	1,973	1350	6.6%	-31.6%
H19.3.12	3840.T	イー・キャッシュ	150,000	302,000	645000	101.3%	113.6%
H19.3.14	3842.OJ	ネクストジェン	170,000	330,000	398000	94.1%	20.6%
H19.3.14	6639.T	コンテック	2,400	2,320	1999	-3.3%	-13.8%
H19.3.15	2143.OJ	秀文社	12,000	14,000	10170	16.7%	-27.4%
H19.3.15	3841.Q	ジーダット	150,000	270,000	248000	80.0%	-8.1%
H19.3.15	6638.Q	ミマキエンジニアリング	490,000	512,000	490000	4.5%	-4.3%
H19.3.15	9381.T	エーアイティ	120,000	261,000	328000	117.5%	25.7%
H19.3.16	2142.T	ユー・エス・ジェイ	49,000	46,600	51300	-4.9%	10.1%
H19.3.16	6637.Q	寺崎電気産業	1,280	1,530	1650	19.5%	7.8%
H19.3.19	2144.OJ	やまねメディカル	210,000	260,000	328000	23.8%	26.2%
H19.3.19	3845.OJ	アイフリーク	280,000	500,000	652000	78.6%	30.4%
H19.3.20	3843.T	フリービット	340,000	484,000	471000	42.4%	-2.7%
H19.3.20	3844.Q	コムチュア	170,000	221,000	316000	30.0%	43.0%
H19.3.20	6636.Q	シスウェーブ	13,000	14,000	11210	7.7%	-19.9%
H19.3.22	6635.Q	大日光・エンジニアリング	3,200	2,790	2505	-12.8%	-10.2%
H19.3.28	3242.Q	アーバネットコーポレーション	350,000	500,000	526000	42.9%	5.2%

2007/3/30時点

初値買い勝率	平均騰落率
45%	31.4%

平均騰落率
5.9%

初値買い負け率	平均騰落率
55%	-15.0%

## 上場予定銘柄データ

コード	銘柄	市場	主幹事	BB 期間	価格決定	仮条件	上場 公開日	公募・売出 数	公募価格
2145	データリンクス	JQ	野村	20~27	3月28日	13万~16万	H19.4.6	2,840	160,000
3846	エイチアイ	JQ	野村	27~2	4月3日	25万~27万	H19.4.12	5,000	0
2148	アイティメディア	東M	新光	4~10	4月11日	0	H19.4.19	5,392	0
3077	ホリイフードサービス	JQ	大和SM	3~9	4月10日	0	H19.4.19	600,000	0
3847	パシフィックシステム	JQ	みずほ	3~9	4月10日	0	H19.4.19	200,000	0
8409	八千代銀行	東証	野村	3~9	4月10日	0	H19.4.19	22,000	0
2150	ケアネット	東M	野村	5~10	4月11日	0	H19.4.20	10,000	0
3078	ユニバース	東2	野村	6~12	4月13日	0	H19.4.24	2,400,000	0
3079	ディーブイエックス	JQ	大和SM	9~13	4月16日	0	H19.4.25	180,000	0
3848	データ・アプリケーション	JQ	新光	6~12	4月13日	0	H19.4.25	3,000	0
6256	ニューフレアテクノロジー	JQ	野村	9~13	4月16日	0	H19.4.25	18,500	0
2149	アジア・メディア・カンパニー・リミ	東M	野村	10~16	4月17日	0	H19.4.26	7,000,000	0
3080	ジェーソン	HC S	いちよし	9~13	4月16日	0	H19.4.26	1,300,000	0

### データリンクス(2145)

NTTグループのFTTH推進などを背景に業績好調な企業だが、売上高全体の約7割をNTTグループに依存している収益構造はマイナス視されよう。公開規模は4.5億円と小粒で、VC持分などはナシ。また、既存大株主の保有分に6ヶ月間のロックアップも付与されており、品薄感を生じやすいと想定される。IPO数が少ないというスケジュール面も追い風と想定。初値メドは23万円~27万円とした。

## 参考資料

## 先週の主なレーティング一覧

## 主な新規レーティング

コード	社名	証券会社	日付	格付
4088	エア・ウォーター	新光	3月26日	1新規
3436	SUMCO	東洋	3月26日	BUY新規
4114	日触媒	新光	3月27日	2+新規
8267	イオン	CS	3月28日	OUTPERFORM新規
8965	ニューシティ	マッコーリー	3月28日	OUTPERFORM新規
8011	三陽商	ゴールドマン	3月29日	買い新規
7459	メディ・パル	メリルリンチ	3月29日	買い新規
9370	郵船航空	日興シティ	3月29日	1M新規
1925	大和ハウス	ドイツ	3月30日	BUY新規
5405	住金	東海東京	3月30日	2+新規

8011

## 三陽商会

GSが「買い」に。バーバリー事業のみの一本足打法から、今後は新規ブランドの貢献も見込まれ、中期的にも百貨店の増床、改装の積極化に伴いシェアアップが期待出来る」と評価しているようだ。

## 主なレーティング引き上げ

コード	社名	証券会社	日付	格付
7448	ジンズメイト	ドイツ	3月26日	HOLD BUY格上げ
8565	三洋クレ	日興シティ	3月26日	3H 1H格上げ
9861	吉野家	CS	3月28日	UNDERPERFORM NEUTRAL格上げ
6729	オンキヨー	コスモ	3月29日	B B+格上げ
6146	ディスコ	マッコーリー	3月29日	UNDERPERFORM OUTPERFORM格上げ
5214	日電硝	三菱UFJ	3月29日	3 2格上げ
8001	伊藤忠	日興シティ	3月29日	2H 1M格上げ
5852	アーレステイ	CLSA	3月30日	UNDERPERFORM BUY格上げ
3793	ドリコム	東海東京	3月23日	2 2+格上げ
4507	塩野義	日興シティ	3月30日	2H 1H格上げ

4507

## 塩野義製薬

日興が「買い」に。中期経営計画の達成は難しいが、下方修正は市場のコンセンサスであり、4/5の中計についての説明会は悪材料の出尽くしに繋がるイベントとしてポジティブに捉えているようだ。

## 主なレーティング引き下げ

コード	社名	証券会社	日付	格付
6967	新電工	新光	3月26日	2+ 2格下げ
6857	アドバンテ	CS	3月27日	NEUTRAL UNDERPERFORM格下げ
6104	東芝機	KBC	3月27日	BUY HOLD格下げ
7453	良品計画	ゴールドマン	3月28日	強い買い 買い格下げ
2267	ヤクルト	日興シティ	3月28日	1M 2M格下げ
8970	Jシングル	リーマン	3月29日	OVERWEIGHT EQUALWEIGHT格下げ
9531	東ガス	日興シティ	3月29日	1L 2L格下げ
4921	ファンケル	ゴールドマン	3月30日	中立 売り格下げ
6857	アドバンテ	モルガン	3月30日	OVERWEIGHT EQUALWEIGHT格下げ
8565	三洋クレ	日興シティ	3月30日	1H 2H格下げ

4921

## ファンケル

GSが「売り」に。4月以降新規店舗の出店を凍結する方針であり、既存店売上高および通販が低迷する中で、08/3期の売上モメンタムは低下すると見ているようだ。業績予想を下方修正したもよう。

三陽商会 8011 日足



塩野義製薬 4507 日足



ファンケル 4921 日足



## 参考資料

## 株式分割リスト

支払日	落ち日	銘柄コード	銘柄名	市場	分割比率
2007/4/1	2007/3/27	2387	ヴァリック	ジャスダック	2
2007/4/1	2007/3/27	8920	東祥	ジャスダック	1.1
2007/4/1	2007/3/27	4681	リゾートトラスト	東証1部	1.2
2007/4/1	2007/3/27	1880	スルガコーポレーション	東証2部	3
2007/4/1	2007/3/27	4307	野村総研	東証1部	5
2007/4/1	2007/3/27	6919	ケル	ジャスダック	2
2007/4/1	2007/3/27	9759	日本システムディベロップメント	東証1部	2
2007/4/1	2007/3/27	6282	オイレス工業	東証1部	1.2
2007/4/1	2007/3/27	8944	ランドビジネス	東証2部	2
2007/4/1	2007/3/27	2122	インタースペース	東証マザーズ	2
2007/4/1	2007/3/27	2497	ネットエイジG	東証マザーズ	3
2007/4/1	2007/3/27	2127	日本M & Aセンター	東証マザーズ	4
2007/4/1	2007/3/27	6877	O B A R A	東証1部	1.5
2007/4/1	2007/3/27	8924	リサパートナー	東証1部	2
2007/4/1	2007/3/27	3794	NDソフトウェア	ジャスダック	2
2007/4/1	2007/3/27	9511	沖縄電力	東証1部	1.1
2007/4/1	2007/3/27	9969	ショクブン	東証2部	1.1
2007/4/1	2007/3/27	7539	アベルコ	ジャスダック	1.2
2007/4/1	2007/3/27	5214	日本電気硝子	東証1部	1.5
2007/4/1	2007/3/27	3388	明治電機	ジャスダック	2
2007/4/1	2007/3/27	6899	A S T I	東証2部	2
2007/4/1	2007/3/27	8898	センチュリー21	ジャスダック	5
2007/4/1	2007/3/27	3236	プロバスト	ジャスダック	5
2007/4/1	2007/3/27	3798	ウルシステムズ	ジャスダック	4
2007/4/1	2007/3/27	9993	ヤマザワ	東証1部	1.2
2007/4/1	2007/3/27	9908	日本電計	ジャスダック	1.1
2007/4/1	2007/3/27	4626	太陽インキ	東証1部	2
2007/4/1	2007/3/27	3435	サンコーテクノ	ジャスダック	2
2007/4/28	2007/4/24	3811	ビットアイル	大証ヘラクレスS	5
2007/5/1	2007/4/24	3813	ゴメス・コンサルティング	大証ヘラクレスG	2
2007/5/1	2007/4/24	8937	Human21	ジャスダック	2
2007/5/1	2007/4/24	5218	オハラ	東証1部	2
2007/5/1	2007/4/24	7826	フルヤ金属	ジャスダック	2
2007/5/8	2007/5/8	1757	千年の杜	大証2部	0.1
2007/6/1	2007/6/1	9704	東海観光	東証1部	0.33
2007/6/1	2007/5/28	5310	東洋炭素	東証1部	1.5
2007/7/1	2007/6/26	4321	ケネディクス	東証1部	2
2007/10/1	2007/10/1	8306	三菱UFJFG	東証1部	1000

## 参考資料

## 投信スケジュール

日付	ファンド名	形態	委託会社	主な販売会社	募集額
4/13	日本新興市場成長株オープン	国内株式	日本投信委託	岡三証券	当初500、 継続5000
マザーファンドを通じて、わが国の新興市場の上場株式会社中心に投資し、投信財産の成長を図ることを目標に積極運用を行う。					
4/17	ダイワ・セレクト日本	国内株式	大和証券投信	大和証券	当初1500、 継続50000
わが国の上場の成長性があり割安な株式に投資、信託財産の成長を目指す。組入れ銘柄数は100銘柄程度。					
4/26	世界好配当インフラ株ファンド(毎月分配型)	国際株式	日興アセット	新生銀行	当初2000、 継続50000
マザーファンド受益証券を通じて、相対的に配当利回りの高い世界のインフラ関連企業の株式等に分散投資、安定的な配当収益の確保、中長期的な信託財産の成長を目指す。					

単位型

F.O.F.はファンドオブファンズ

単位:億円

今週中に株式投資と関連のある投信設定は予定されていない。

一方、ブルームバーグがまとめた3月の投信状況によると、新規投信58本の設定総額は5740億円と、2000年2月の9490億円以来の高水準となったもよう。特に成長期待が高いアジアの株式で運用する商品に人気が高まり、大和住銀投信の「アジア好配当株ファンド」の設定額は1468億円に膨らんだという。このファンドのほか、JPモルガン・アセットの「JFアセアン成長株オープン」が243億円、第一勧業アセットの「みずほアジアファンド」シリーズが153億円を集めた。また、日本株を投資対象とするファンドのなか、M&Aの活発化を背景に大和投信の「大和M&Aチャンス2007(限定追加型)」の当初設定額は165億円となった。

(注・文章中の企業名とファンド組み入れ銘柄との整合性はありません。)

株式会社フィスコ

発行人 三木茂

編集人 村瀬智一フィスコ株式チーム

お申込・お問い合わせ

〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目1番28号 九段ファーストプレイス7階

株式会社フィスコ 営業開発部

電話:03-5212-8751 FAX: 03-5212-8789

EMAIL: webmaster@fisco.co.jp

各種レポートのサンプルはフィスコホームページでご覧下さい。

<http://fisco.jp/corp/report.html>

- ・マーケット展望
- ・IPOナビ
- ・マーケットデータウォッチ(MDW)
- ・NY発 ウォール街通信
- ・テクニカル分析MaP
- ・フィスコ・FX
- ・フィスコ外国為替情報
- ・Market Outlook
- ・牛熊ボンドレター
- ・米国データウォッチ
- ・世界潮流アップデート
- ・Bi-Weekly Monetary Affairs
- ・グローバル・マーケット・レビュー
- ・グローバル・エクイティ・ウェザー・リポート

2007年4月2日号

最終的な投資判断はご自身でお願いいたします。本文、データなど当レポートの内容に関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わず、(株)フィスコおよびその制作者、データ提供者、その他関係者は一切の責任、損害賠償に応じません。また、当レポートの本文、データなどは著作権法などの法律、規制により知的所有権が保護されており、個人の方の本来目的以外での使用や他人への譲渡、販売コピーは認められていません(法律による例外規定は除く)。以上の点をご了承の上、当レポートをご利用ください。

